

## 業務情報化の推進

平成14年度、研究所情報システム機能の充実を図るため情報化アクションプラン等により提言を受け開発を進めてきた現地調査管理システムに旅費の精算機能および各種帳票印刷機能の開発を行なった。また、情報システムの安定的な管理運用を行なうため研究所情報システムへ外部からの不正なアクセスのチェックを行なうとともに、全てのクライアントでOSや業務用ソフトのセキュリティパック導入作業を実施した。外部研修機関を利用したコンピュータ研修を実施し、職員のコンピュータ有効活用を促進した。図書館システムの新サービス構築に必要なハードウェアの導入を行なうとともに新環境の設定作業などをサポートした。増大するデータ量に対処するため、直接ネットワークに接続可能なディスク装置であるNAS (Network Attached Storage) を導入し統計処理など大量のデータ処理を迅速に処理可能な環境の構築を行なった。

### (1) 研究所情報システム機能の充実

情報化アクションプランにより提言され開発を行なっている現地調査管理システムに対し、旅費等の精算情報入力機能や現地調査の個別実績表のPDFフォーム出力機能を開発した。現地調査計画時に起案書に添付する調査目的、地域等基本情報や復命書の作成および閲覧機能を追加し事務処理の合理化を図った。またOSをUNIXサーバベースの開発からより安価な開発が可能なWindowsサーバベースへプラットフォームの変更作業も同時に実施した。

### (2) 情報システムの管理運用

アジアを中心に全世界的に蔓延したKLEZウイルスなど、最近では短時間に多くの被害を及ぼす悪質なウイルスの発生が毎日のように報告される。研究所では事業活動の基盤である情報システムの安定的な管理運用に重点を置いており、研究所情報システムへの不正なアクセスおよびウイルスによる被害を防ぐ目的から、ファイヤーウォールのログ監視を行なうとともにサーバおよびクライアントの両面でウイルス・チェックを実施した。OSや各種ソフトウェアで報告されるセキュリティ上の問題点を回避するため、サーバおよび全クライアントに対しセキュリティパックの導入作業を行なった。

### (3) コンピュータ研修の実施

新入職員に対し研究所内のネットワーク構成やファイル・サーバ等の使い方、また出退勤申請、コンピュータ利用申請等のワークフローや連絡業務に使用するNotesシステムの使い方につ

いて講習を実施した。職員のコンピュータの有効活用を促進するため、外部の研修機関による研修を研究所内で実施した。業務で使うことの多いOfficeソフトからワープロ、表計算、データベースの三つのソフトについてはそれぞれ2日間にわたり実際にPCを操作しながら研修を行なった。また講演会や会議等で使用する機会の多いプレゼンテーションソフトについても1日コースで研修を行なった。

システム担当者がより高度な知識および専門的技術を習得するため、コンピュータメーカ等技術系企業が行なう研修に参加した。

#### (4) ホームページ作業のサポート

研究所情報発信機能を充実するため、出版物の発刊案内や講演会等の開催に伴うCGIを利用した申し込み受付をWeb上にアップし、開催後の報告などホームページコンテンツの迅速な変更作業をサポートした。

#### (5) 研究所内のコミュニケーション機能の向上

研究所内のコミュニケーション機能の向上を目指し職員一人一人のコンピュータリテラシーを充実させるため研究所内でOffice関連ソフトのパソコン研修も実施した。また新入職員に対してもシステム課職員によりグループウェアの利用方法や共有ファイル使用等研究所コンピュータ環境について研修を実施したため、コミュニケーション機能への関心が高まり職員による掲示板への掲載も増えるなど成果があがった。

#### (6) 新図書館システムのサポート

国立情報学研究所のシステム更新に合わせた研究所システムの構築を図るために必要なソフトウェアのカスタマイズを行なった。また、業務運用上の問題点解消と利用しやすい画面デザイン等の導入を行なった。図書館利用者へサービス向上のため新たに導入されるアラートサービスに必要なハードウェアの導入を行なうなど開発支援を行なった。

#### (7) 研究所次期情報システム基本構想の作成

研究所次期情報システムの基本構想案を作成するためコンサルティング会社と契約を行ない、研究所が導入すべきサーバの基礎要件の洗い出しを行なうとともに、サーバおよびクライアントの最新技術動向の調査を行なった。研究所が要求する各種サーバおよびクライアント、周辺機器の基本仕様作成と技術動向の摺り合わせを行なうとともに、国際入札処理に則ったスケジュールで仕様書(案)等の公示を行なった。

#### (8) NASの導入

貿易や統計データなど大量データを扱う業務を行なううえでネックとなるコンピュータのディスク容量問題をクリアするため、サーバハードディスク装置の増設ではなくネットワークへ直接接続可能なNAS (Network Attached Storage) システムを導入し、統計プログラム処理速度の高速化と利便性を高めた。

#### (9) 情報公開専用端末の設置

平成14年10月より施行された情報公開制度で、情報公開請求者がインターネットWeb上に公開された公開対象文書一覧にアクセスするPC端末を設置するため、LAN配線工事と端末のセットアップを行なった。